



わかたけ通信

～熱海市立第二小学校 通級指導教室だより～

令和6年1月26日 文責 女川



寒い中でも梅の花は咲き、着実に季節は春へ向かって進んでいます。今年度も残り2か月となり、まとめを意識する時期となりました。わかたけ教室では、自分の成長を実感し、自信をもって次学年へ進むことができるように、振り返りをしていきたいと考えています。ご家庭でも伸びたところを褒めていただき、「次の学年でも頑張りたい」という期待感や「安心して次の学年に進級できる」という安心感をもたせていただけたらと思います。2月もご支援よろしくお願ひします。



☆2月の休みの予定☆

2日(金) 15時から 5日(月) 15時から：鈴木

6日(火) 午後：女川 9日(金) 午後

※予定の変更は、個別に連絡させていただきます。

☆保護者の方へのお願ひ☆

インフルエンザなどの感染症が広がっています。今後も、体調のすぐれない時はご家庭で様子を見るなど、健康観察をよろしくお願ひいたします。

第二小学校 わかたけ教室 85-3301

《ABAを使った子どもに届く言葉かけ例 短く、わかりやすく伝えよう》

子どもに出す指示は、簡単で、しかも具体的なものにしましょう。具体的とは、それを聞いた誰もが、同じようにできるということ。ですが、細かく伝える必要はありません。適切な指示になっているかどうか、2つのポイントでチェックするとよいでしょう。

第1のポイントは、「目で見て、観察できる行動を指示しているか」。例えば、「静かにしなさい」と言っても、「静か」の基準は人によってさまざまです。大人が「黙ってほしい」と思っているのに、子どもが「小さな声なら大丈夫だろう」と思っていると、子どもは指示を守ったつもりなのに、さらに注意されてしまいます。

第2のポイントは、「イメージを指示していないか」。「しっかり」「ていねいに」などは、何をどうしてよいか、わかりにくい言葉です。伝わる言葉で指示してこそ、子どもは指示を守ることができます。

出版：ナツメ社 小笠原恵 加藤慎吾：著「発達の気になる子の「困った」を「できる」に変える ABAトレーニング」

私は主観や感覚に頼る指示を出していると反省しました。「誰もが同じ行動をとれる言葉」で伝えていきたいです。

例え「こんなとき」 → 「こうしよう」

- だらしない状態・態度のとき
 
 ちゃんとしなさい!
 
 言葉かけ: 肌着やシャツを、スボンの中に入れてよ。背筋を伸ばして、まっすぐ立とうね。
 何をどうしてほしいのか、具体的に1つずつ伝えます。
- 静かに話を聞いてほしいとき
 
 静かに!
 
 言葉かけ: お口を開いて、今は声を出さずにお話を聞こうね。
 「静か」の解釈が異なると、うまくいかないで、誰から言われても、同じ状態になるように伝えます。
- 出かける準備ができないとき
 
 早くしなさい!
 
 言葉かけ: 時計の針が12になったら出かけるよ。服を替えようね。
 急いでほしいときは、時間を決めて区切ると、「いつまで」という感覚がわかり、子どももペース配分しやすくなります。

